

2025年6月17日

オリコムが国際OOHカンファレンス開催で 「デジタルサイネージアワード2025」入賞

「OOH TOKYO Conference in association with WOO」がイベントカテゴリにて選出

株式会社オリコム（本社：東京都港区、代表取締役社長：中島明美、資本金1億6,500万円）は、2025年2月に開催した国際カンファレンス「OOH TOKYO Conference in association with WOO（OOH Tokyo Conference 2025 with WOO）」が、デジタルサイネージアワード2025のイベントカテゴリにて入賞いたしましたことをお知らせします。本アワードは、一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアムが主催し、公募したデジタルサイネージの作品の中から優秀な作品を選出・表彰するものです。2024年1月以降に発表されたコンテンツ・ハードウェア・システムを対象としています。本年は応募作品の中からグランプリ1作品と入賞10作品が選出されました。

■入賞作品概要

作品名：OOH TOKYO Conference in association with WOO

開催時期：2025年2月

会場：東京ミッドタウンホール

主催：WOO（World Out of Home Organization）/ 株式会社オリコム（日本側主催社）

本カンファレンスは、OOH（Out of Home）広告のグローバル業界団体WOOによる国際OOHカンファレンスを日本で初開催したものです。世界19カ国から約500名を超える業界関係者が来場し、「メジャメント（広告効果測定）」や「プログラマティックOOH（自動取引）」など、デジタルOOHの核心を成すテーマについて議論が交わされました。

本カンファレンスは、単なるイベントを超え、「業界の未来を共創する場」として構築され、国際的視点から日本市場におけるOOHの価値と存在感を再定義。参加者同士の知見とネットワークが交差する機会を創出し、デジタルサイネージ業界全体の発展にも大きく貢献した点が高く評価されました。

本表彰は、2025年6月11日（水）に幕張メッセで開催された「デジタルサイネージジャパン2025」内にて行われました。

■審査員のコメント

- ・ 日本初開催の大型国際OOHカンファレンス。OOH広告だけではなく、DOOHの可能性も示唆したエポックメイクな機会となった。
- ・ アナログ、デジタルに関係なく日本のOOH業界団体が一つにまとまった意義は大きい。
- ・ OOH広告に関するトレンドをはじめ、持続可能なビジネスモデルについて議論され、今後のデジタルサイネージ業界の発展に向け、大きく貢献されたと感じた。

- ・ 大変意義深いイベントで、感慨深いです。OOH のグローバルレベルでのさらなる発展と、日本の健闘を期待しています。
- ・ グローバルな OOH 団体のカンファレンスは各国で実施されているが、日本で初めて実施できた意義は大きい。これらは当アワードも海外展開事例の応募も視野に入れるべきかも知れない。



■ 株式会社オリコム 代表取締役社長 中島明美のコメント

「まさかこの取り組みを受賞対象にしていただけるとは思っておらず、驚いたというのが正直なところです。こうしてこの場に立たせていただいて、改めて光栄に感じています。そして、何よりもこの賞を手にするべきは私ではなく、本カンファレンスの日本初共催という試みに挑戦し、汗をかいた社員達であり、協力いただいた方々だと思っています。OOH やデジタルサイネージの世界においても様々なことが変化していく今だからこそ、本カンファレンスのようなグローバルに開かれたリアルの場で、様々な知恵やノウハウを共有し、交流を持つことが重要だと捉えています。引き続き、この取り組みで得た気づきを、今後の活動に活かして、広く業界に、社会に、貢献していきたいと思います。ありがとうございました」

オリコムは、“世の中に一つでも多くの「良い関係」を創造する”企業として、OOH と広告主の「良い関係」を創造して参ります。

■ オリコムについて

株式会社オリコムは、東京都港区新橋に本社を置く、1922 年創業の総合広告会社です。世の中に一つでも多くの「良い関係」を創造することを企業理念に、マスメディア、OOH、デジタルソリューション、クリエイティブ、プロモーションなど幅広い事業を展開しています。

詳しくは <https://www.oricom.co.jp/> をご覧ください。